

科目名	日本文学論 Japanese Literature	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	国際文化学科（1年後期）【開放科目】	科目区分	講義
担当者	村中 菜摘	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>「日本語」の書きことばによって成立したさまざまな文学作品を、そこに表現された人間の内面を掘り起こすことで人間の理解につなげ、実生活を心豊かでよりよいものにするきっかけをつかむことを目的とする。各作品の成立の背景や特徴を味わいながら、作者の思いや登場人物の心の動きを知り、作品を通じて私たちの心に存在するさまざまな感情に気づくことで、自己および他者を理解するとともに、今後の人生をどう歩むかを自ら考えて模索する手段として日本文学を活用できるようになることを到達目標とする。</p>		
授業概要	<p>本講義は、上代・中古・中世・近世・近代・現代の各時代の日本文学作品の中から、学生の皆さんに基本的な教養として知っておいてもらいたいものを厳選して取り上げ、その世界に反映された人間のさまざまな心の側面を認識するという目的で構成されている。「難しい」という印象を抱かれがちな日本文学の世界だが、まずは身構えずにその世界を味わってみることで作品に興味を持ち、読書によって自らの人生を磨く若者が増えることを希望的目標とする。文学作品世界への認識を深め、人の心の動きについて考えることで、実生活において自己も他者も活かせる生き方を見出すきっかけにしてもらえるよう講義を進める。</p> <p>【SDGs : ④, ⑤, ⑩】</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス、日本最古の和歌集『万葉集』概説 ② 『万葉集』から、和歌とは何かを考える ③ 和歌から物語へ（1）物語文学の流れ—作り物語、歌物語— ④ 和歌から物語へ（2）物語文学の流れ—日記文学、『源氏物語』へ— ⑤ 『源氏物語』概説、登場人物の紹介 ⑥ 『新古今和歌集』の意義、八代集について ⑦ 『新古今和歌集』の表現技巧—本歌取りを中心に— ⑧ 『徒然草』にみられる視点—人間への興味 ⑨ 近松門左衛門—人形浄瑠璃と歌舞伎の脚本家— ⑩ 日本文学的視点から、どう生きるかを考える ⑪ 夏目漱石（1）初期作品の特徴、作品テーマの変化 ⑫ 夏目漱石（2）近代人の苦悩—エゴイズムを中心に ⑬ 夏目漱石（3）近代人の心の救済をめぐる ⑭ 谷崎潤一郎（1）初期作品における女性崇拜 ⑮ 谷崎潤一郎（2）耽美主義と女性崇拜 ⑯ 定期試験 		
予復習等	<p>【予習】 テキストのプリントに目を通しておくこと 【復習】 その日に学んだテキストのプリント等を見直し、整理しておくこと</p>		
評価方法	出席状況・受講態度40%、授業時に書いてもらうメモ20%、定期試験40%		
履修条件	なし		
教科書	テキストとしてプリントを配布する		
参考書	適宜プリントを配布する		